

平成30年度諫早市まちづくり総合戦略推進会議
会議記録（要旨）

日時：平成30年10月16日（火）

14:00～16:00

場所：諫早市役所5階 大会議室

【会議次第】

1 開会

2 協議事項

（1）諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成29年度取組状況について

【要旨】

(会長)

協議事項に沿って会議を進める。

(1) 諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成29年度取組状況について、事務局から一括して説明をお願いする。

(事務局)

資料1 諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略の
PDCAサイクルの推進イメージの説明

資料2 諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略の
取組状況と今後の方針一覧の説明

(委員)

資料2のKPIには実績だけでなく、今後の見込みも入れて整理した方が連続性がある良いのではないか。

(事務局)

一覧表の示し方について検討し整理していきたい。

(会長)

農業基盤整備や農業就業人口についてはどうか。

(委員)

農業基盤整備については、地元の農業者も大いに期待している。農業においても少子高齢化は進展しており、県央農協の部会の中でも農業就業人口や売り上げの伸びに差がある。ミニトマトや飯盛町の農家は新規就農者が増えているが、稲作農家は農業者が減少している状況である。

(委員)

定住人口の増加は大きな目標だと思う。市外や外国から本市に学生が転入しているが、特に留学生を卒業後市内に定住させる施策はないのか。

(委員)

長崎ウエスレヤン大学においては、日本人学生はほぼ県内出身者であり、県内就職率は以前は8割超であったが、現在は約7割となっている。外国人学生は卒業後、東京都など関東に転出するケースが多い。外国人の就職については、企業側が外国人雇用の受入れに慣れてないケースがある。また、外国人の仕事に対する考え方は日本人と習慣が違うことも課題である。

大学卒業後の定住については、若者が求める業種を企業誘致するとか、起業しやすい環境を整えるような方策が必要だと思う。

(会長)

若者の定住化について、資料2の3ページの「ア 本市への移住の促進」の「②若者の雇用確保・定着促進」のKPIである「若者の定住率（現在の30～34歳人口を20年前の10～14歳人口で除した値）」の平成29年度実績は70%で、基準値（平成26年度64%）から中々差が縮小してないということについて意見はないか。

(委員)

若者が来たくなる住みたくなるまちづくりが必要と思うが、PR不足ということもあり、若者からは諫早市は魅力等がないと言われることがあり、若者が集まるようなネット環境の整備などの環境づくりが必要と思う。

子育て支援については、ファミリーサポートセンターは「(仮称)子ども・子育て支援センター」内に設置することになっているが、5年前には設置しておくべきものである。また、市は小学校のエアコン設置については、国の補助金もあるので早急に取り組んでもらいたい。

このほか、保育所では保育士が不足しており、子どもの受入れが難しい保育所もある。市内の大学等で保育士を育成する場があるといいと思う。

また、公立幼稚園の保育料を私立幼稚園と同程度の水準にさせていただけたらと思う。

(事務局)

公立幼稚園の保育料は、政策的に私立幼稚園よりも安く設定しているが、来年の10月に予定されている教育保育の無償化を踏まえ、議論を深めていく必要があると思っている。

ファミリーサポートセンターについては一時預かり等の役割を果たすものであるが、市内では保育園の延長保育の充実等により代替しているものの、栄町東西街区市街地再開発事業で建設される「子ども・子育て総合センター」の中で検討していきたい。

子育て支援のPRについて、子育て関連の情報を発信している「いさはや子育てネット」は、昨年度7万8千件のアクセスがあり、引き続きアピールしていきたい。

(事務局)

若者の定住について、本市では転出超過が続いていることから、県と県内市町で共同設置の「ながさき移住サポートセンター」との連携で移住施策を進めているが、相談窓口を通じた移住実績は少ない状況である。

定住人口にあたっては、働くところ、住むところ、子育て支援などのサービスの充実など総合的に取り組んでいくべきと考えている。

(会長)

人口流出の要因の一つとして、小規模事業者の廃業が多いことだと思う。小規

模事業者は後継者がいないことが多く、今後廃業する事業者は増えると思う。小規模事業者が生き残っていくための施策が必要ではないかと思う。

(事務局)

高校生の県内就職率は高いが、市内の高校は普通校が多いため、高校卒業後は大学等への進学で県外へ転出するケースが多く、県外流出者をどう呼び戻すかが課題である。現在、県央振興局と連携し高校生に市内企業を紹介する取組を進めているところである。

(委員)

小長井町は店舗など利便性の向上がないと人口定着は難しいと思う。市外から小長井町に来られる方の中には小長井町漁協で販売中のフルーツバス停Tシャツを購入しバス停で写真撮影されるなど、交流人口拡大につながっている。

同町には市外の人との交流が図られるような施設がない中、現在、小長井多目的施設整備に向けて事業が進められているが、交流拠点として活かせるよう早期の建設に取り組んでもらいたい。

(事務局)

小長井多目的施設については、今年度、地元から要望をいただき検証している状況である。今年度は、候補地である長里グラウンドの地質調査を実施中であり、調査結果を踏まえ、どのような活用が可能か検討を進めていきたいと考えている。

(委員)

小長井地域はスーパーマーケットがないということで、道の駅を整備してもらえれば店舗も入り、交流人口の拡大につながるのではないかと。市でも5か所の候補地を調査したと聞いているが進捗はどうなっているのか。

(事務局)

道の駅については、市内の有望な事業者へ相談しているが、現時点で運営主体の確保ができてない状況である。道の駅の条件として24時間利用できるトイレ、休憩施設、駐車場を備えておく必要がある。運営主体が決定した段階で、運営主体とともに運営方法等について検討してまいりたい。

(委員)

KPIの進捗状況は比較的順調であるが、人口減少に歯止めはかかっていない。諫早市はハード事業は順調に進められているが、ソフト事業が物足りない気がする。

市内には大型商業施設がないため、長崎市や大村市の大型商業施設を諫早市内の人が利用されている。いさはや西部台と長野町の大型商業施設の進捗状況を教えてほしい。

(事務局)

いさはや西部台の大型商業施設（3ヘクタール）については、イオンタウンが建設される予定であるが、9月末日で土地購入を完了され、これから施設の整備に入る段階と聞いている。

長野町付近の大型商業施設予定地は農地のため農用地区域の除外が必要である。現在、企業側が地元との話し合いを進めており、また、市に開発のための事前協議が提出され、関係機関との協議が行われていると聞いている。島原道路の開通も関係していると思う。

(委員)

資料2の3ページの「エ 多様なツーリズムによる新しいひとの流れの喚起」のKPIである「延べ宿泊者数」について、ホテル等に協力を仰いで訪問目的を把握することで、対策の検討基礎資料になるのではないか。

(会長)

諫早市はスポーツ施設は充実しており交流人口も増えていると思う。スポーツに関するプロモーションはどのように取り組んでいるのか。

(事務局)

スポーツ、観光など様々な角度からシティプロモーションを総合的に図っていくため、昨年度「諫早市シティプロモーション戦略」を策定した。広報誌や市ホームページ等これまでの情報発信の方法などを検証しながら、より良い市の魅力発信に務めてまいりたい。

(会長)

スポーツコンベンションの誘致についてはどう取り組んでいくのか。

(事務局)

スポーツコンベンション等の誘致に係る助成については、諫早観光物産コンベンション協会へ事業委託し実施している。平成29年度の利用実績は前年度比較で3千人増加している。(仮称)久山港スポーツ施設整備事業における第1野球場が7月に供用開始するなど市内のスポーツ施設は充実しており、今後の伸びしろは充分にあると考えており、事業のPR等を図りながらさらなる交流人口の拡大に取り組んでまいりたい。

(委員)

県内の建築業では就任1年目の社員が一人で現場に行かされ社員が苦勞していると聞く。個人的には一旦市外へ転出して都市部の企業に就職しノウハウを培って戻ってきてもらうことがあってもいいと思うし、市の発展につながるのではないかと思う。

(事務局)

多様な人材の受入れに対応することも必要と思う。「ながさき移住サポートセンター」では職業紹介の中で、県内企業が求める外部専門人材を招聘する取組を行っており、県と連携しながら取り組んでまいりたい。

(委員)

小長井町漁協販売店においては、今まで見たことのないおもしろい魚介類が低価格で販売されていて味もおいしい。市内に漁協以外で販売等してもらえる店舗があるといいと思う。

(委員)

同世代では、20代前半の頃に市内と県外のどちらで就職等するかを決めていた。総合戦略の取組の効果というのは20年後の諫早市がどうなっているかで決まると思うが、長期的なビジョンは立てられているのか。

(事務局)

現行の総合戦略は平成31年度までの取組である。平成32年度以降について国は現行の取組を検証しながら次期総合戦略を策定することとしている。本市においても人口減少対策は取り組んでいくべき課題であるため、次期総合戦略の策定について検討してまいりたい。

(委員)

計画の策定にあたっては、人口減少を食い止める施策だけでなく、人口減少に対応したまちづくりについても盛り込んでもらいたいと思う。

(委員)

若者の就職希望先については大企業やIT企業に魅力を感じる時代であり、地域の中小企業では人材確保に苦慮している。市においても人材確保の方法について企業へ情報発信するなど支援をお願いしたい。

地域の活性化について、地域では一過性のイベント等は開催されているが、市内の農産物等を継続的に購入できる道の駅のような拠点があるといいと思う。

若者の定着について、地域の人口が減少している中で、地元の自治会等と若者が話し合える場があるといいと思う。

(事務局)

雇用の確保について、市内の有効求人倍率は高い数値で推移し、企業側にとって厳しい状況が続いている。現在、県央振興局、高校、大学、近隣市等で「県央地域若者定着促進連携会議」を開催し、若者の県内就職に結び付けられるよう取組を進めているところである。

(委員)

高校の進路指導者、商工団体、建設業界、公共機関で構成される「県央地域若者

定着促進連携会議」においては、県内高校卒業生の県内企業就職を推進するため議論をおこなっている。これまで高校側と企業側の双方の交流ができていなかったことから、昨年度意見交換会を開催し顔合わせの場を設けたところであり、今年度も開催予定である。また、来年2月には県内高校生に県内企業を知ってもらうために自社企業をPRする場を設ける予定である。

このほかの課題として、企業側は高卒者を求めているが、高卒者が求める業種とのミスマッチがある。

(会長)

県、市、商工会議所、ハローワークとも連携し、高校生を持つ親に対しても、県内企業のPRを行ってほしいと思う。

(委員)

資料2の7ページの「ア 市街地近隣・中山間地域等における活力ある経済・生活圏の形成」の「①『諫早版小さな拠点の形成』」のKPIである「集落生活圏における「地域デザイン策定数」」について実績がないが、市内でも周辺部の人口減少は一步も二歩も先を行っていることから、モデル地域として、人口減少が進む地域において、まちの活性化につながるデザインの策定に取り組んでいただきたいと思う。

(事務局)

毎年、まちづくり懇談会を開催し市長が直接市民の声をお聞きする場を設けており、今年度は人口減少が進んでいる小長井地域において、地元の子育て世代や独身の方との意見交換を行いながら、地域の課題解決に向けた取組を始めたいと考えている。

(委員)

小児医療については、「いさはや準夜診療センター」を運営しており、雲仙市からも全体の1割の方が診療に来られている。

高齢化については、地域包括ケアシステムを市も推進している。

少子高齢化で人口減少は今後も続いていくことになるので、市は長期的な展望をもって取り組んでもらいたい。

(委員)

資料2の3ページの「ア 本市の移住の促進」の「①移住・定住の専門相談体制の強化」におけるKPIである「相談件数」と「移住件数」の実績が前年度よりも増加しているが、相談内容について伺いたい。

(事務局)

関東や福岡県在住者からの相談が多い。実績が増加した要因として、「ながさき移住サポートセンター」において、関東だけでなく福岡県をターゲットにして移住相談会等を開催してきた結果ではないかと思う。相談窓口において移住希望者が

市内で暮らすイメージができるよう効果的な紹介方法について研究していきたい。

(委員)

市の魅力発信について、フェイスブックや市ホームページだけでなく、他のSNSも活用しながら市の取組等を発信していくといいと思う。

(事務局)

市の魅力発信については、今年度からLINEアプリによる情報発信を開始しており、様々な場面等を活用して情報発信に努めてまいりたいと思う。

(委員)

資料2の8ページの「カ 地域への誇り・愛着を高めるた地域づくりの推進」の「①地域に対する誇りや愛着を高めるための地域づくり活動の促進」のKPIである「集落生活圏における「地域デザイン策定数」」について実績がない理由について伺いたい。

(事務局)

まちづくり懇談会において、今年度は人口減少が進んでいる小長井地域において、地元の子育て世代や独身の方との意見交換を行いながら、地域の課題解決に向けて取組を始めたいと考えており、その中で地域デザインが策定できればと思っている。

(委員)

資料2の8ページの「カ 地域への誇り・愛着を高めるた地域づくりの推進」の「①地域に対する誇りや愛着を高めるための地域づくり活動の促進」の「これまでの取組状況、平成30年度の方針」欄について、地元では地域の人が元気で住みやすいまちづくりを目指して様々な活動に取り組んでいることから、文章表現についてはアクティブなものにしていただきたいと思う。